



飯山市の平成 25 年度普通会計および特別会計決算がまとまりました。今回はその状況をお知らせします。

普通会計とは——
一般会計、福祉企業センター特別会計、ケーブルテレビ事業特別会計をあわせたものです。

平成25年度の普通会計と特別会計を合わせた決算額は、歳入(収入)226億6225万円、歳出(支出)219億4060万円となりました。

歳入

普通会計の歳入について、市税は23億8408万円、前年度に比べ2.3割減となりましたが、これは法人市民税および固定資産税の減が主な要因です。地方交付税は54億3418万円、普通

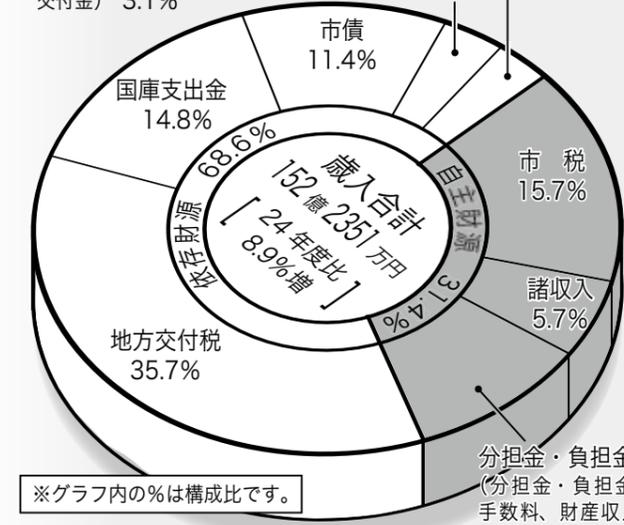
歳入の決算額

区分	決算額	対前年増減
地方交付税	54億3418万円	3.3%↓
市 税	23億8408万円	2.3%↓
国庫支出金	22億5693万円	126.6%↑
市 債	17億2900万円	21.4%↑
諸 収 入	8億6539万円	9.4%↓
県 支 出 金	5億4573万円	8.4%↓
分担金・負担金など	15億2186万円	3.8%↑
地方譲与税・各種交付金	4億8634万円	0.3%↑

市税の内訳

税 目	決算額	構成比	増減率
固定資産税	11億6998万	49.1%	1.9%↓
市 民 税	8億9332万	37.5%	5.2%↓
市たばこ税	1億8428万	7.7%	10.3%↑
軽自動車税	7051万	3.0%	0.9%↑
都市計画税	5638万	2.4%	2.7%↓
入 湯 税	960万	0.4%	6.7%↑

地方譲与税・各種交付金(地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車交付金、地方特例交付金、交通安全交付金) 3.1%



※グラフ内の%は構成比です。

用語解説

- 歳入**
市税：市民税や固定資産税など、市に納められた税金
- 地方交付税**：所得税などの国税のうち一定の割合を、市の状況に応じて国から配分されるお金
- 諸収入**：他の収入科目に含まれない収入をまとめたもの。延滞金、預金利子、宝くじ収益金などもこれにあたる
- 分担金・負担金**：分担金は、市の事業により特に利益を受ける者から、その受益の限度において徴収されるもの。負担金は、地方公共団体が、他の市や住民に課するもので健康診断受診者負担金などが代表的なもの
- 各種交付金**：国税として国が徴収した財源を、一定の合理的基準によって地方公共団体に再配分されるお金
- 市債**：市が建設事業などの財源とするための長期の借入金で、償還が一会計年度を超えるもの
- 国庫支出金**：国から支出される、原則的に使途が特定されている負担金、補助金、交付金、委託金など
- 地方譲与税**：国が国税として徴収し、そのまま地方公共団体に対して譲与する税

歳出

普通会計の歳出は、普通建設事業費が36億2503万円、前年度対比93.8%の増となりました。これは新幹線飯山駅都市施設や都市計画道路の整備、飯山駅統合などの新幹線関連整備により増額となったものです。また、借入金の返済にあたる公債費は、過疎債などの返済を順調に行い前年度より10.2割の減の12億770万円となりました。扶助費については13億2790万円、前年度対比2.6割の増で、これは障害者福祉サービス費の給付や医療扶助費などの増が主な要因です。人件費は、20億1705万円、前年度対比1.0割の増で、これは退職者が増えたことによる退職金の増が主な理由です。補助費等は、15億5412万円、前年度対比5.2割の増で、これは岳北広域行政組合への市分担金の増や新幹線開業PR推進の補助などがあったことが主な要因です。また、普通会計以外の特別会計(16割参照)についても

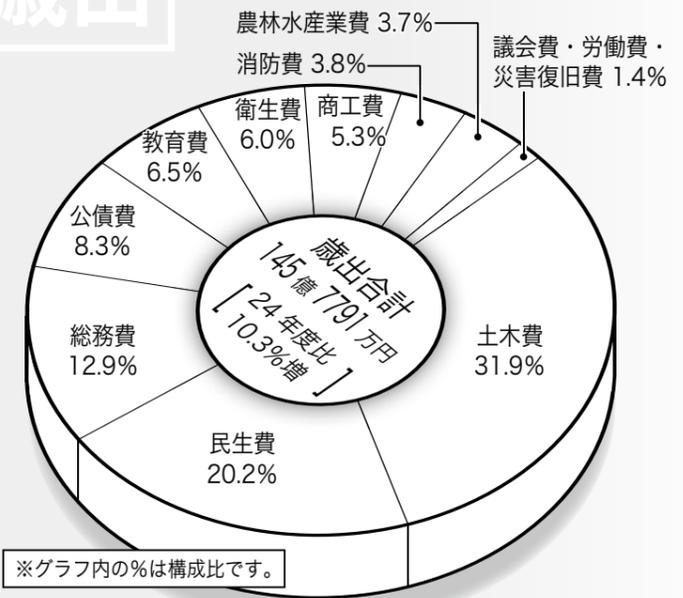
歳出の決算額 (性質別歳出の状況)

区分	決算額	対前年増減
普通建設事業費	36億2503万円	93.8%↑
人 件 費	20億1705万円	1.0%↑
繰 出 金	18億1585万円	0.9%↓
物 件 費	16億649万円	2.1%↓
補 助 費 等	15億5412万円	5.2%↑
扶 助 費	13億2790万円	2.6%↑
公 債 費	12億770万円	10.2%↓
投資・出資金・貸付金	6億8551万円	8.6%↓
維持補修費、その他	7億3826万円	26.6%↓

歳出の決算額 (目的別歳出の状況)

区分	決算額	対前年増減
土 木 費	46億4743万円	46.8%↑
民 生 費	29億4621万円	1.1%↓
総 務 費	18億7597万円	3.6%↑
公 債 費	12億770万円	10.2%↓
教 育 費	9億4669万円	10.9%↓
衛 生 費	8億7516万円	10.9%↑
商 工 費	7億7114万円	4.1%↑
消 防 費	5億5784万円	9.4%↑
農 林 水 産 業 費	5億3950万円	3.5%↓
議会費・労働費・災害復旧費	2億1027万円	15.7%↓

歳出



※グラフ内の%は構成比です。

用語解説

- 歳出**
土木費：道路や河川、新幹線などの整備に使われたお金
- 民生費**：高齢者や障害者、児童福祉の推進などに使われたお金
- 総務費**：人事管理や財産管理、企画調整や地域振興、税務事務などに使われたお金
- 公債費**：これまでに公共事業などで借り入れたお金の返済に使われたお金
- 教育費**：小中学校の管理運営や施設整備、および生涯学習の推進などに使われたお金
- 商工費**：商業や観光の振興および企業の誘致などに使われたお金
- 衛生費**：ごみの処理や健康増進事業などに使われたお金
- 農林水産業費**：農業、林業、畜産などの振興に使われたお金
- 消防費**：消防団の運営や常備消防の維持など、消防活動や救急活動に使われたお金
- 議会費**：議会運営に使われたお金
- 労働費**：労働行政に使われたお金
- 災害復旧費**：災害復旧のために使われたお金

平成 25 年度決算に基づく健全化判断比率など

健全化判断比率には、「早期健全化基準」と「財政再生基準」があり、4指標のうち各基準を1つでも上回ると「早期健全化団体」、「財政再生団体」へと移行し、財政健全化計画の策定などが義務付けられています。

【健全化判断比率】

指標	24年度	25年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	13.75%	20.00%
連結実質赤字比率	—	—	18.75%	30.00%
実質公債費比率	13.7%	13.1%	25.0%	35.0%
将来負担比率	66.7%	58.5%	350.0%	

実質赤字比率、連結実質赤字比率

実質赤字額がないため（黒字のため）「—」で表示しています。

実質公債費比率、将来負担比率

実質公債費比率は0.6ポイント、将来負担比率は8.2ポイント前年に比べて改善しました。改善の要因として、実質公債費比率では過疎債などの地方債償還額が減少したこと、将来負担比率では下水道事業などの公営企業債における一般会計繰入金が増加したことが挙げられます。

普通会計地方債残高は、過疎対策事業の本格化に伴う新たな過疎債の借入れ等により平成25年度は85億989万円となり、平成24年度の78億5657万円と比較すると6億5332万円増加しています。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、飯山市の健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4指標の総称）と、公営企業の資金不足比率を公表します。

【資金不足比率】

決算において資金不足を生じた公営企業がないため該当ありません。「資金不足比率」は各公営企業の資金不足額が、事業規模に対してどの程度あるかを示す数値で、基準値を超えると「経営健全化計画」を定める必要があります。

健全化判断基準とは・・・

実質赤字比率・・・一般会計などを対象とした実質赤字額が標準財政規模に対する比率です。

連結実質赤字比率・・・全会計を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率です。

実質公債費比率・・・地方公共団体の収入に対する借入返済額の比率を示すもので、普通会計の公債費に下水道特別会計や水道事業会計などへの繰出金（公債費相当）と岳北広域等への分担金（公債費相当）を加算し、財政負担の度合いを判断するものです。

18%を超えると地方債発行について国や県の許可が必要となります。

将来負担比率・・・地方公共団体の一般会計などの借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担などの残高を現時点で指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す比率です。

350%を超えると健全化計画を策定し、財政の健全化を図らなければなりません。

平成 25 年度 普通会計決算

主な使い道

特徴的な事業、生活に身近な事業
(1万円未満四捨五入)

土木費

- 道路新設・改良事業 (3億1006万円)
- 協働のみづくり事業 (2647万円)
- 除雪対策費・除雪機械整備 (5億7968万円)
- 景観形成整備事業 (954万円)
- 飯山城址整備事業 (547万円)
- 区画整理・新幹線駅周辺整備・関連事業など (19億9789万円)
- まち並み整備事業 (5610万円)
- 飯山ぶらざ(仮称)建設事業 (5672万円)
- 町屋活用にごわい創出事業 (274万円)
- 住宅リフォーム支援事業 (1465万円)
- 移住・定住の住宅建設支援 (889万円)



商工費

- 企業誘致対策 (188万円)
- 工業用地等取得費補助事業 (1328万円)
- 地域資源活用型起業支援事業 (412万円)
- 土産品開発支援事業 (221万円)
- 観光施設整備、管理 (2186万円)
- 誘客宣伝観光振興事業 (959万円)
- 広域観光推進事業 (1274万円)
- 信州いいやま観光局運営事業 (4000万円)



衛生費

- 各種検査、予防接種など (9850万円)
- 保健センター改修事業 (254万円)
- ごみ減量・再資源化推進 (259万円)
- 岳北広域行政組合衛生関係施設運営負担金 (3億3695万円)
- リサイクル推進 (2586万円)



民生費

- 飯山市社会福祉協議会補助 (2549万円)
- 老人施設入所措置事業 (6774万円)
- 高齢者生きがい対策事業 (2435万円)
- 後期高齢者医療市町村負担事業 (2億4921万円)
- 児童手当給付事業 (3億2336万円)
- 保育所運営事業 (2億2555万円)
- 子育て支援事業 (256万円)
- 児童福祉施設整備事業 (896万円)
- 災害救助派遣事業 (180万円)



教育費

- 学力向上総合対策事業 (990万円)
- 小学校施設リニューアル整備事業 (9089万円)
- 小学校保健室エアコン設置事業 (294万円)
- 文化的景観保存計画策定事業 (424万円)
- ジュニアスポーツ振興事業 (847万円)
- スポーツ施設リフレッシュ事業 (1854万円)



総務費

- 窓口改善整備事業 (903万円)
- 区長行政事務委託事業 (1891万円)
- 公共交通運行事業 (6782万円)
- ふるさと寄付金推進事業 (8878万円)
- 輝く地域づくり支援事業 (225万円)
- 新幹線開業PR推進事業 (2329万円)
- コミュニティ助成事業 (990万円)
- 選挙執行事業(参議院、中部土地改良区) (1363万円)



農林水産業費

- 中山間地域等直接支払い事業 (8269万円)
- 農地・水保全管理支払事業 (1294万円)
- 新規就業総合支援事業 (425万円)
- 菜の花の里づくり事業 (1160万円)
- 協働のむらづくり事業 (731万円)
- 協働のもりづくり事業 (114万円)



消防費

- 消防団の運営経費 (6816万円)
- 消防防災施設整備、管理 (4122万円)
- 災害対策・防災減災対策 (321万円)



平成 25 年度 特別会計決算

特別会計名	歳入	歳出	差引残額
公共下水道事業	9億200万円	8億9534万円	666万円
特定環境保全公共下水道事業	3億5590万円	3億5101万円	489万円
農業集落排水事業	3億2215万円	3億1781万円	434万円
簡易水道等	2億2684万円	2億2442万円	242万円
国民健康保険	26億6129万円	26億4951万円	1178万円
介護サービス事業	1070万円	1015万円	55万円
介護保険	25億9828万円	25億5484万円	4344万円
後期高齢者医療	2億2238万円	2億2041万円	197万円

- ・いずれも普通会計に算入していないものです。
- ・1万円未満四捨五入により端数処理してあります。
- ・下水道事業特別会計は14ページでお知らせしています。

いいやま恋しナイトスクール 冬期入学生募集

いいやま住んでみません課 ☎ 62-3111 内線 250

恋しナイトスクールは、男女がクラスメートとなり、期間中4回の交流と懇親会を行い、カップリングを目指していただく学校です。ただいま冬期入学生を募集しています。

- 対象者 25歳～40歳までの独身男女
- 参加料 男性5000円 女性2000円
- 開催期日 11月6日(木)、20日(木)、12月4日(木)、18日(木)



市営住宅入居者募集

いいやま住んでみません課 住宅係 ☎ 62-3111 内線 252

市では下記のとおり市営住宅の補充入居者を募集します。入居資格等、詳しくはお問い合わせください。

- 団地・戸数 【一般】水上団地(曙町)2戸、【随時】曙町団地1戸
- 受付期間 10月27日(月)～11月7日(金)
休日等の閉庁日を除く 8:30～17:15
随時募集は10月27日から定員に達するまで
- 選考方法 抽選(募集戸数を越えた場合)
- 抽選日時 11月19日(水)9:30～(市役所)

有毒きのこによる食中毒にご注意を

市民環境課 生活環境係 ☎ 62-3111 内線 191・192

毎年、秋になると有毒きのこによる食中毒が集中して発生しています。きのこ採りを楽しむ場合は次の点に注意しましょう。またもしきのこ中毒だと思ったら、すぐに医師の診察を受けましょう。

- 知らないきのこは採らない、食べない、人にあげない
- 食べられるきのこの特徴を完全に覚える
- 誤った言い伝えや迷信を信じない



■きのこ鑑別相談窓口 開設中

きのこ採りが行われる時期に併せ、きのこ衛生指導員による「きのこ鑑別相談窓口」が開設されています。10月中旬以降の実施日程は以下のとおりです。

- ・開設日 10月16日(木)、20日(月)、22日(水)、28日(火)
- ・場所 長野県飯山庁舎 101号会議室
- ・時間 13:00～15:00

※鑑別用のきのこは、根元まで全体を採取してお持ちください。また採取場所の状況を教えてください。

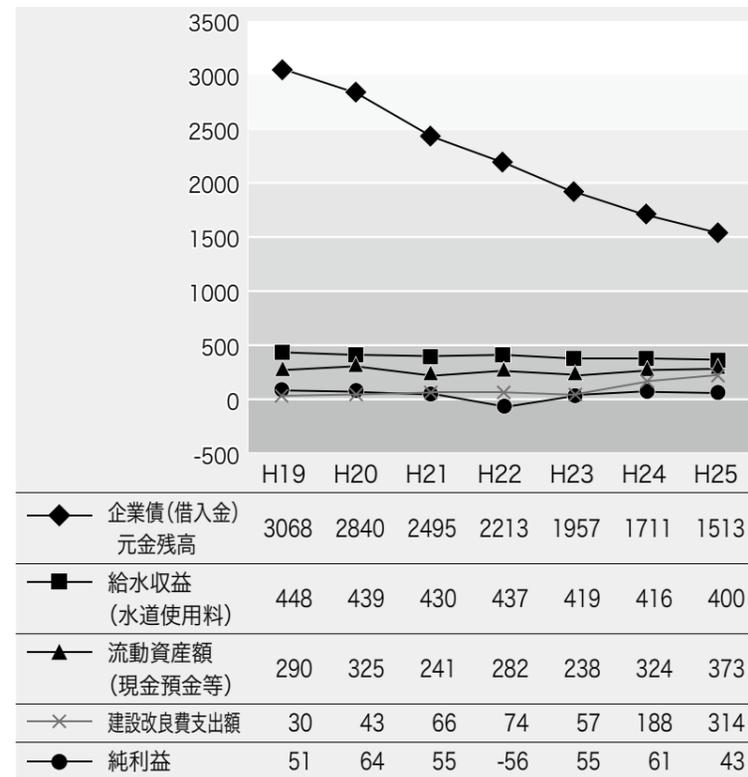
【問合先】北信保健福祉事務所食品生活衛生課 ☎ 62-3106



上水道事業の経営状況（決算）をお知らせします

上水道事業は、市民の皆さまに納入していただく水道料金で経営しております。市は、現在の料金を維持しながら今後も「安全でおいしい水の安定的な供給」をいたしますので、市営水道へのご理解とご協力をお願いします。

◆平成19年度から平成25年度 経営状況（単位：百万円・税抜）



- 企業債(借入金)元金残高は、繰上償還により平成19年度に比べ概ね半分にになりました。
- 給水収益(水道使用料)は、人口減少および節水意識の向上などにより年々減少しています。
- 流動資産額(現金預金等)は、前年比約5千万円増となりました。
- 建設改良費は、山岸水源水道施設整備および中央橋架替関連工事などにより、前年度に引き続き大幅に増となりました。
- 純利益は、前年比2千万円ほど減となりました。

平成25年度 上水道事業の給水状況

年度末の給水戸数	6417戸
年度末の給水人口	1万7191人
年間の総配水量	244万9609m ³
1カ月の平均配水量	20万4134m ³
年間の有収水量	186万1580m ³
1カ月の平均有収水量	15万5132m ³
有収率	76.0%
供給単価	214.71円
給水原価	202.53円

有収水量：水道料金請求の対象となった水量

自分を知らう！

参加者募集

チャレンジ体力測定

保健福祉課 健康増進係 ☎62-3111 内線175・181・182

チャレンジ体力測定では、トレーニングマシンなどで、下半身の筋力や持久力、柔軟性など13項目を測定します。またトレーニング方法も紹介し成果を確認するために、定期的に再測定も行います。

自分の体力を知り、体力アップにチャレンジしてみませんか。

■測定日(次の3コースから選りお申し込みください)

- ※いずれのコースも2名以上の参加者で開催します。
- Aコース 11月7日(金) 13:30～15:30
- Bコース 11月8日(土) 9:30～11:30
- Cコース 11月8日(土) 13:30～15:30

■場所 飯山市保健センター(市役所前)

■測定項目 身長、体重、体脂肪率、腹囲、血圧、握力、内転筋力、外転筋力、大腿四頭筋力、持久力、長座位体前屈、ファンクショナルリーチ、Timed Up & Go

■定員 各コース12名(定員になり次第締切)

■対象者 18歳以上の市民(心臓疾患を現在治療中、過去に治療された方は参加できません。その他の疾病で治療中の方は、主治医にご相談ください)

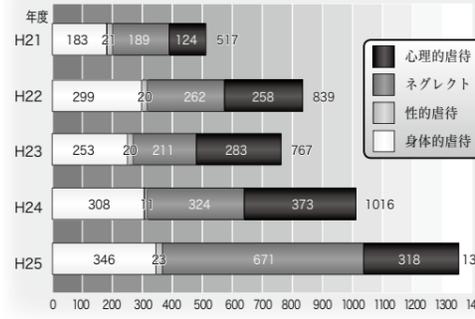
■参加費 無料(希望者には、セラバンド500円、やわらかボール150円をあっせんします)

■申込期限 10月31日(金)まで
(電話にて保健福祉課健康増進係までお申し込みください)

児童虐待について知ってほしい
児童相談所では児童虐待の相談件数が増えており、子どもが奪われる重大な事件も後を絶たない状況です。虐待には、暴力を振るう身体的虐待のほか、ネグレクト(育児放棄)、心理的虐待、性的虐待があり、虐待者は実母、実父が多くなっています。虐待を受けた子どもは自分を大切に思えず、心に受けた傷に一生苦しむこともあります。

不安や悩みをひとりで抱えこまないで
子育てに悩みや不安を感じたら、自分だけで抱え込まず、保健師や保育士、家庭児童相談員に相談しましょう。また、「虐待かな?」と思われる子どもや家庭を知った人は、中央児童相談所または飯山市福祉事務所へご連絡ください。社会全体で子どもを守り、児童虐待のない社会にしていきたいと思います。

県内児童相談所における区分別相談件数の推移



ためらわず知らせてつなぐ命の輪

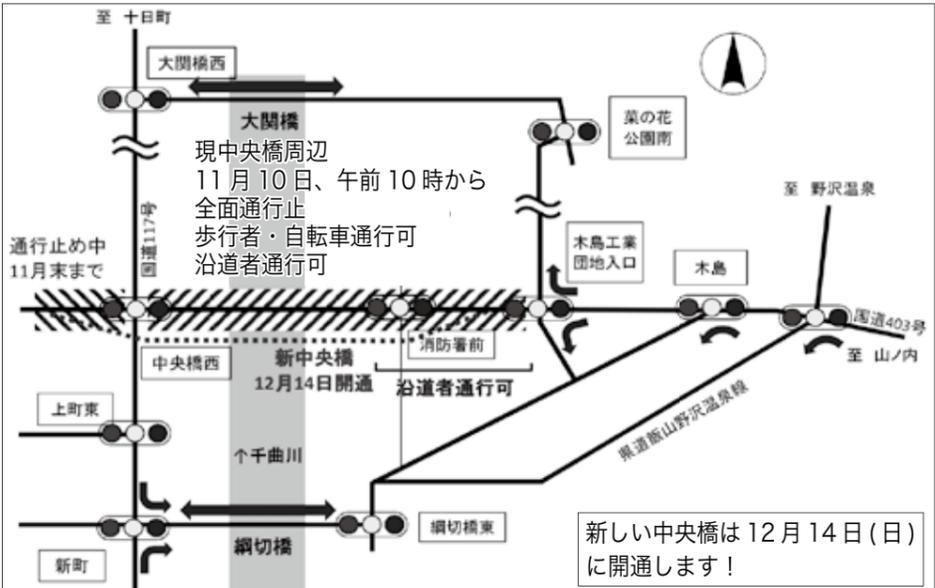


11月は児童虐待防止推進月間(平成26年度標語)【お問い合わせ・目撃情報など】中央児童相談所 ☎026-238-8010

中央橋架け替え工事に伴う現中央橋周辺の通行止めについて

長野県北信建設事務所 整備課整備第二係 ☎0269-23-0795 道路河川課 監理係 ☎62-3111 内線271

新中央橋への切り替え工事に伴い、現在の中央橋の通行止めを実施いたします。(歩行者・自転車は通行可能です。) 規制開始は11月10日、午前10時からです。区間は、中央橋西交差点から木島工業団地入口交差点までの国道403号です。(中央橋東から木島工業団地入口交差点の間、沿道者さまの通行は可能です。) ご面倒ではありますが、網切橋・大関橋へ迂回をお願いいたします。 現在通行止めの福寿町付近の県道は12月上旬から通行可能予定です。



北信州公開講演会 参加者募集

北信州心臓病地域連携包括ケア推進協議会
子どもたちとこの地域の未来のために
減塩について皆で考え、意識してみませんか!

保健福祉課 健康増進係 ☎62-3111 内線180
北信総合病院地域医療連携課 ☎0269-22-2151

心臓病・高血圧・脳卒中・腎臓病などの病気を患っている方は、減塩を心がけていると思われるかもしれませんが、子どもや若い世代の方が減塩に慣れていくこともこの地域の将来の健康につながっていく大切なことです。ぜひこの機会に若い世代の方々も一緒に減塩について考えてみませんか。

日時 11月9日(日) 14:00～15:30
場所 中野市働く婦人の家
講演 「塩分制限をしたくなる話」パート2
講師 塩月優子先生(県立須坂病院 腎臓内科医師)

食品展示・試食・測定コーナーもあります。13時から16時まで尿中食塩濃度測定を希望者に行います。
※当日は小さなお子さんをお預かりする託児環境も整えてお待ちしております。

今後の上水道事業について

- ・収入では、利用者の減少と節水効果により減収入となる中、支出では老朽施設の更新と耐震化に継続的な投資が必要になり、また、低迷している有収率(配水量のうち料金収入の対象となった水量の割合)向上のため、漏水対策を強化します。
- ・中央橋の架け替えにより、橋に添架する水道管の口径がφ200mmからφ300mmに増径され、木島側から市街地に送水することができる量は、山岸新水源分の1000m³/日に加え、2500m³/日が可能になります。これにより、斑尾水源系の過負担が軽減され、より安定した水道水の供給が可能になります。

お水だんしゃくのワンポイントアドバイス

長期ご不在時には水道の閉栓(休止)の手続きを
お仕事やご家庭の都合で長期間ご自宅を離れる場合は、漏水などの予期しないトラブルを防ぐため、また、閉栓することで基本料金が不要となります。 水道開栓、閉栓の手続きは上下水道課窓口で行っています。 印鑑及び手数料(1000円)をお持ちのうえ、開栓、閉栓希望日の2～3日前までにお越しください。